

## 建設工事現場のCO2 排出量の自動計測と可視化システムを実用化

ユアサ商事株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：田村 博之）は、株式会社竹中工務店（大阪府大阪市中央区、取締役社長：佐々木 正人）と建設工事現場で排出されるCO2の自動計測システムを開発しました。

## 【従来の課題】

建設工事現場では、多種多様の建設重機、建設用機器が多数使用されており、それぞれの稼働状態を正確に把握することは困難です。そのため、建設工事現場のCO2排出量を算出するには、タワークレーンなどが消費する電力量や、バックホーなどのエンジン式建設機械、ゼネレーターなどの建設現場用機器が消費する燃料、廃棄物処理運搬に伴う輸送車両が消費する燃料等を手作業で計測する必要がありました。そして、計測したデータをエクセル等の集計表に手入力する必要がありました。

## 【開発によるソリューション】

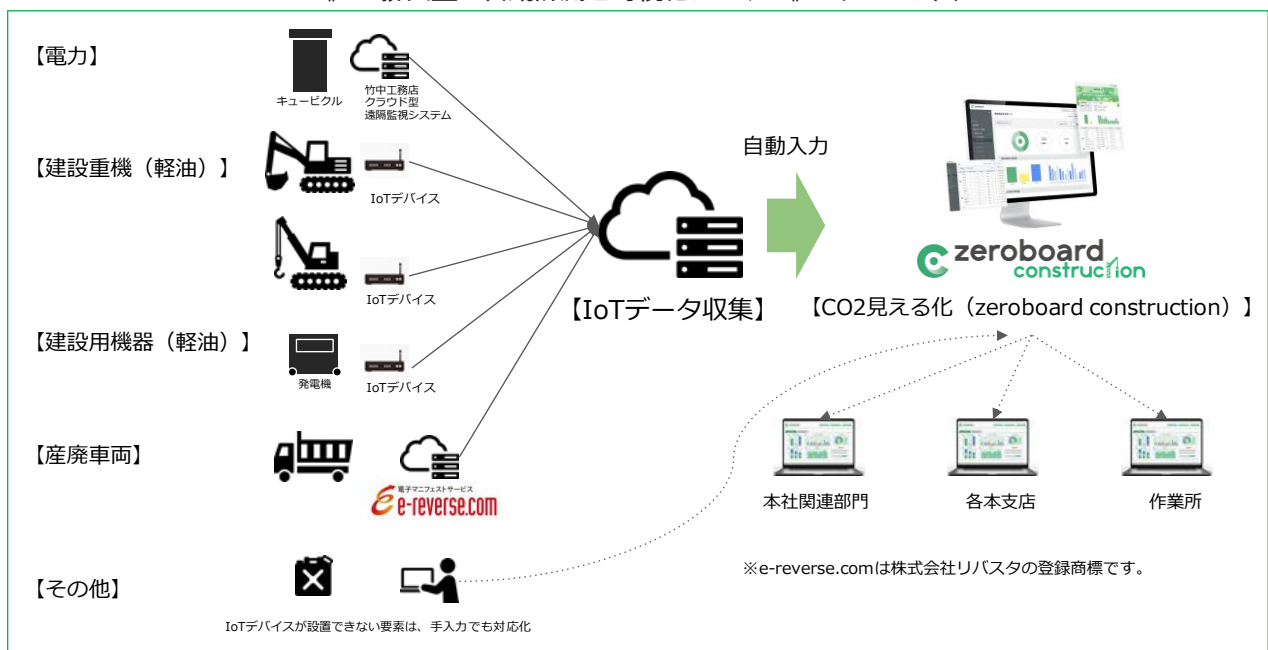
建設重機、建設用機器に専用のセンサーを設置して、その活動量を自動的に計測することを可能にしました。また、外部データの活用により、キュービクル（高圧受電設備）の電力使用量および産廃車両の燃料使用量の自動取得も可能にしました。計測および取得したデータを、クラウドに自動転送し、CO2排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard construction（ゼロボード コンストラクション）」に連携することで、建設工事現場におけるCO2排出量の正確かつリアルタイムな可視化を実現しました。

「zeroboard construction」は、CO2をはじめとしたGHG（温室効果ガス）排出量のデータプラットフォームである株式会社ゼロボードが建設業界向けに開発したシステムであるため、「zeroboard construction」を含むCO2自動計測システムは建設業界の関連企業に広く販売できると考えています。労働人口が減少する建設産業の生産性向上や、CO2排出量の削減に貢献していきます。

現在、建設工事現場にて実証実験を行っており、2023年2月より株式会社竹中工務店の新築工事現場へ順次導入予定です。

一般販売は、2023年度を予定しています。

## 《CO2 排出量の自動計測と可視化システム》イメージ図



## ■会社概要

・ユアサ商事株式会社 | YUASA TRADING CO., LTD. (<https://www.yuasa.co.jp/>)

所在地 : 東京都千代田区神田美土代町7番地

代表者 : 代表取締役社長 田村 博之

設立 : 1919年6月25日

事業内容 : 産業機器、工業機械、住設・管材・空調、建築・エクステリア、建設機械、エネルギー、その他分野に関する製品販売やサービス提供

・株式会社竹中工務店 | TAKENAKA CORPORATION (<https://www.takenaka.co.jp/>)

所在地 : 大阪府大阪市中央区本町4丁目1-13

代表者 : 取締役社長 佐々木 正人

創立 : 1899年

事業内容 : 建築工事及び土木工事に関する請負、設計及び監理等

・株式会社ゼロボード | Zeroboard Inc. (<https://zeroboard.jp>)

所在地 : 東京都港区港南二丁目15番1号 品川インターシティA棟22階 SPROUND

代表者 : 代表取締役 渡慶次 道隆

設立 : 2021年8月24日

事業内容 : 温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」の開発・提供／電力・環境価値に関するコンサルティング／ブランディング・キャンペーン支援

《本件に関するお問合せ先》

ユアサ商事株式会社 総合企画部 TEL:03-6369-1133 E-mail:souki@yuasa.co.jp